

国民機起動音発生装置 "PiPo" Ver.2 説明書

設計・製作 爆竹銃 組み立て協力 SYAM

作者 Web ページ <http://baku.zive.net>

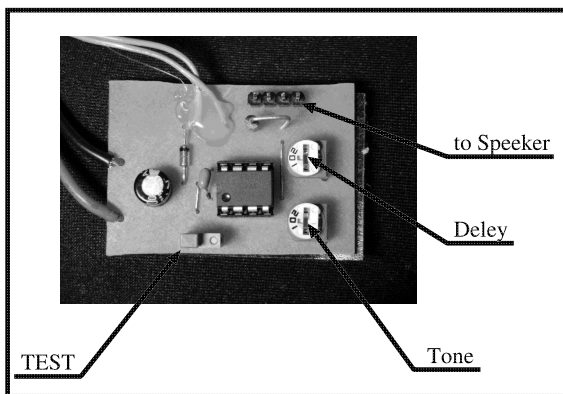
1 本装置の機能

AT 互換機の起動時に、PC-98x1 風の「ピポッ」という音を鳴らす、それだけのハードウェアです。PC-286/386/486 にも取り付け可能です。

音色は、VM あたりのピーポーから、RX あたりのピポッ、オーバークロック時のピョッまで調整可能です。

2 各部分の説明

2.1 基板



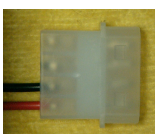
Tone 音長を変えます

Deley 起動してから音が鳴るまでの時間を変えます

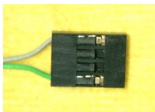
TEST 指定した音長・Deley でテスト発振します。

to Speaker 音の出力端子です

2.2 ケーブル



電源へ



マザーボードスピーカ端子へ

3 取り付け方

1. 電源ケーブルを、AT 互換機のあいている電源端子に接続します。
2. ケースのスピーカケーブルを基板の to Speaker に接続します。極性は関係ありません。
3. マザーボードスピーカ端子へのケーブルをマザーボードに接続します。極性はマザーボードと合わせる必要がありますが、普通マザーボードのスピーカ出力の極性なんてわかりません。そこで、とりあえず繋いで、マザーボードからの音が出ればそのままに、出なければ逆に接続し直します。
4. ピポッの音長・音が出るまでの遅延を、Tone、Deley で好みに調整します。
5. 調整が終わったら PiPo 基板を両面テープなどでケース内に固定します。

4 制限

ピポッと音が鳴るまではマザーボードからの音は出力されません。

マザーボードからの音は一旦 PIC マイコンで拾ってから出力しているため音が歪む場合があります。

起動の判断は電源の+5V の立ち上がりだけを見ているため、サスペンドからの復帰時などにもピポッと鳴ってしまいます。

5 保証とアフターサービス

本頒布物は全数検査の上で頒布していますが、万が一不良品などがありましたら修理・交換いたしますので、bakuchikujuu@nifty.com まで連絡してください。

本品の保証期間は1年間といたします。壊れるようなところはないはずですが、一応、念のため。

6 免責事項

本頒布物によってあなたのPCが不調もしくは故障したとしても当局は一切関知しないからそのつもりで。なおこの説明書は自動的に消滅する。

...嘘です、当然、自動消滅しません。でも、PCに不調などが生じたとしても保証の限度額は当頒布物の頒布価格までとさせていただきます。